

Ⅷ 木材利用に係るコスト

建設コスト比較

建設コスト比較

1 用途別の建設コスト比較

公共施設等の建設コストについて、自治体が公開しているデータ等を基に、分析を行いました。事例は、構造種別に、平均工事単価（千円/㎡）の整理を行い、分析の目的上、極端に高い事例、極端に安い事例は除外し分析しました。サンプル数が少ない事例もありますが、一定の指標にはなると考えられます。

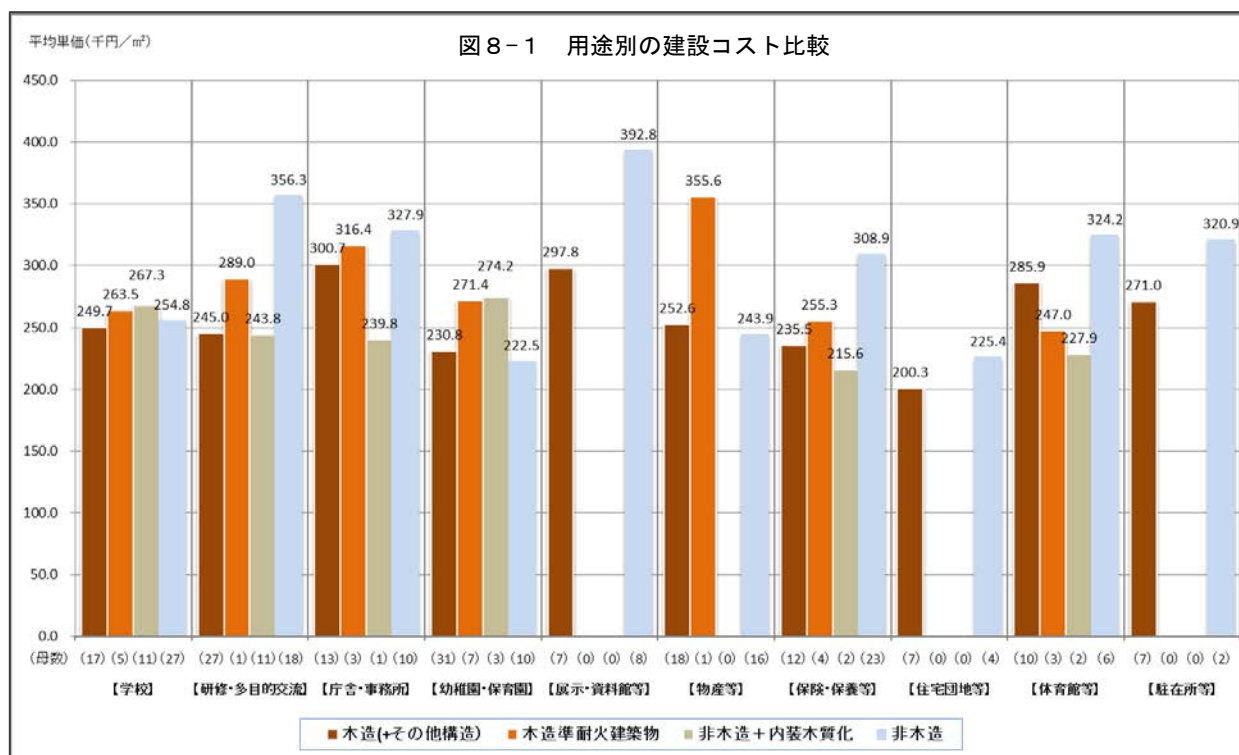
【研修・多目的交流】は、公民館、集会所、研修施設等、【展示・資料館等】は、図書館、博物館等、【保健・保養等】は、高齢者福祉施設等が含まれています。

用途によりバラつきはありますが、『木造（+その他構造）』の方が、『非木造』がより高い単価となっているのは、【幼稚園・保育園】のみであり、それ以外は、全て『木造（+その他構造）』の方が低い数値となっています。

『木造（+その他構造）』の方がコスト高になっている【幼稚園・保育園】でも、その差は8.3千円/㎡であり、大きな差とはなっていません。

一番サンプル数の多い【学校】で見ると、『木造（+その他構造）』が249.7千円/㎡と一番安く、続いて『非木造』が254.8千円/㎡となっており、コスト的に仕様が上がると考えられる『木造準耐火建築物』、『非木造+内装木質化』が263.5千円/㎡、267.3千円/㎡となっています。

用途によっては、木造の方が安いと一概に言うことはできませんが、計画次第で木造でも十分に、コスト競争力のある施設整備が可能であると思われます。



『木造（+その他構造）』：木造、あるいはその他の構造との混合構造によるもので、建築物の防耐火上の要件が「その他の建築物」のもの

『木造準耐火建築物』：木造、あるいはその他の構造との混合構造によるもので、建築物の防耐火上の要件が「準耐火建築物」のもの

『非木造+内装木質化』：木造以外の構造（主として鉄筋コンクリート造）の建築物で、内装を木質化したもの

『非木造』：木造以外の構造によるもの

2 規模別の建設コスト比較

下記の「規模別の建設コスト比較」は、「木造」については、全国の木造の新築の建築物の建設コストと、「非木造」については、本市の平成15年度から平成24年度の10年間の、新築の建築物の建設コストを比較したものです。(契約金額ベースの比較)

木造のサンプル数は101件、非木造のサンプル数は54件であり、延べ面積が2,000㎡までは、木造の建築物が非木造の建築物より、建設コストが低い傾向にあります。

延べ面積が500㎡までの中小規模の木造建築物は、構造や工法が確立されており、また、一般に流通している木材を利用することで、建設コストは、比較的低くなると思われます。

なお、木造の1平方メートル当たりの平均建設コストは、283千円であり、非木造は、313千円となっています。

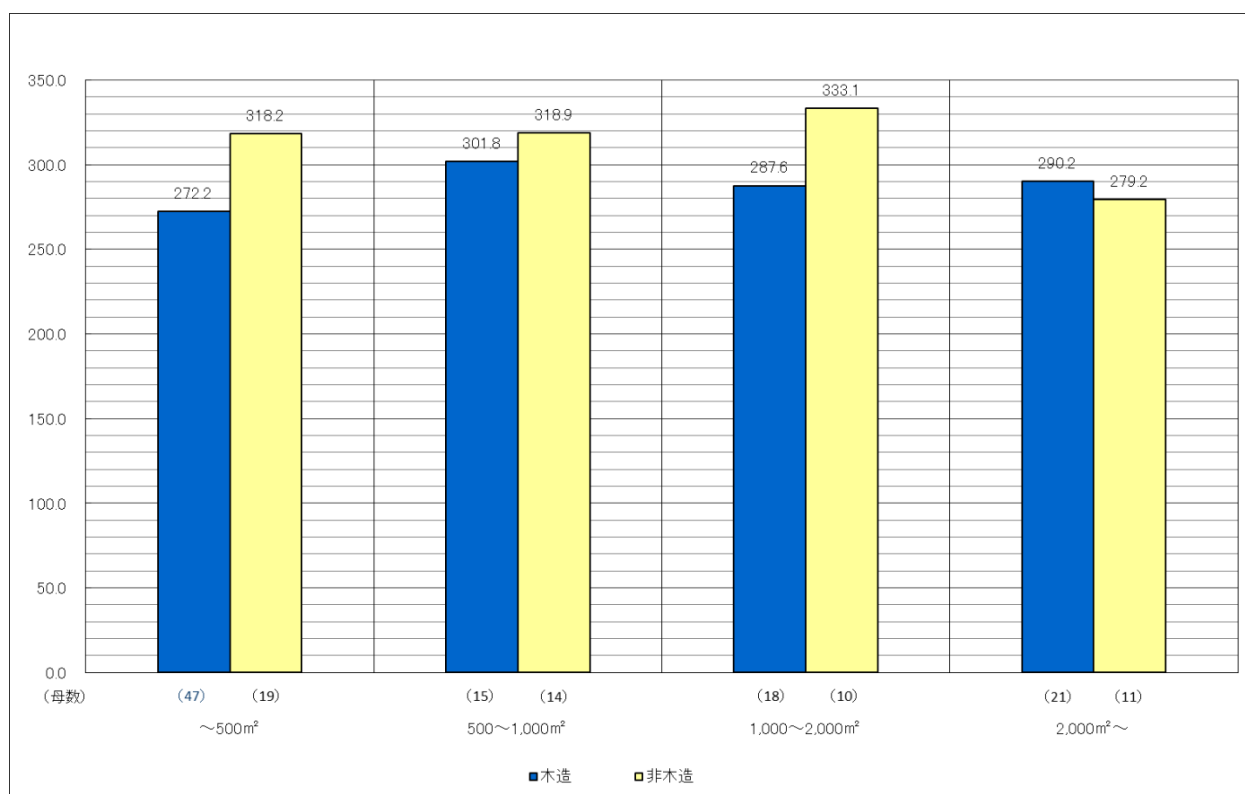


図8-2 規模別の建設コスト比較

